



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社旅工房 上場取引所 東  
 コード番号 6548 URL <https://www.tabikobo.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高山 泰仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 岩田 静絵 (TEL) 03(5956)3044  
 定時株主総会開催予定日 2020年9月1日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月2日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	33,355	14.0	138	△58.4	138	△56.7	88	△53.5
2019年3月期	29,268	20.8	333	416.5	318	511.3	190	896.4

(注) 包括利益 2020年3月期 94百万円(△52.7%) 2019年3月期 199百万円(660.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	18.70	18.14	6.1	2.3	0.4
2019年3月期	40.64	39.31	15.0	5.8	1.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	5,293	1,542	28.9	321.67
2019年3月期	6,856	1,373	19.9	291.96

(参考) 自己資本 2020年3月期 1,528百万円 2019年3月期 1,367百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△1,343	△280	689	2,702
2019年3月期	1,817	△281	△15	3,638

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定といたします。連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	4,752,100株	2019年3月期	4,683,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期	62株	2019年3月期	62株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	4,723,468株	2019年3月期	4,678,205株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	32,733	12.7	109	△66.4	106	△65.6	72	△61.5
2019年3月期	29,048	20.1	324	525.7	309	677.2	188	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	15.37		14.91					
2019年3月期	40.30		38.98					

個別経営成績に関する注記

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	5,133		1,444		28.1	303.89		
2019年3月期	6,737		1,297		19.3	277.03		

(参考) 自己資本 2020年3月期 1,444百万円 2019年3月期 1,297百万円

<個別業績の前期実績値との差異要因>

シーズンキャンペーンや航空会社とのタイアッププロモーション等の各種施策により個人旅行需要の取込みに努めたことやオンライン予約システムの機能強化及び商品拡充により、売上高に関しては前期を上回る水準で推移いたしました。一方で営業利益に関しては、第4四半期以降に本格化した新型コロナウイルス感染拡大の影響などで減収となったことから、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定といたします。詳細については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用情勢・所得環境の改善や個人消費の持ち直しを背景に緩やかな景気回復基調で推移してきましたが、年度末に新型コロナウイルス感染症の影響を受けて急速に悪化いたしました。

旅行業界におきましては、2019年4月から2020年3月における日本人出国者数が1,813万人\*となり、ゴールデンウィーク大型連休や航空路線の増加等のプラス要素もあったものの、2020年1月以降の新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受けた渡航制限や需要減退が大きく影響し、前年同期比5.8%減少いたしました。訪日外客数におきましても、前年同期比12.2%減の2,776万人\*と大きく落ち込んでおります。

このような情勢のもと、当社グループでは、引続きオンライン商品販売とトラベル・コンシェルジュによるオーダーメイド販売を組み合わせた「ハイブリッド戦略」を推進し、サマーセールや秋の連休キャンペーン、初売りセール等の各種施策により個人旅行需要の取込みに努めました。韓国や台湾、グアムをはじめとした「安近短」方面におきましては、オンライン予約システムの機能強化及び商品拡充に注力し、ヨーロッパを中心とした長距離方面におきましても、早期取込みを見据えた商品展開及び組織体制の強化に取組みました。法人旅行事業につきましても引続き営業体制の強化に取組んだほか、見本市や展示会等の海外視察旅行の需要取込みに向けて、海外視察旅行専用サイトを新規にオープンいたしました。

しかしながら、第4四半期会計期間には新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、外務省の感染症危険情報に基づき各方面でツアーの催行を中止したことにより、個人旅行需要の取込みが大幅に減少したことに加え、企業の業務渡航や団体旅行につきましても実施の延期やキャンセルが相次ぎました。

システム・マーケティング面では、業務効率化を目的として前期より一部導入しておりました新基幹システムを、レジャー部門全体へ展開いたしました。またオンライン商品の販売拡大のため、海外航空券サイト及び海外航空券+ホテルサイトのリニューアルを行ったことに加え、Skyscanner Japanが運営する比較検索サービス「スカイスキヤナー」との接続や、エクスペディアパートナーソリューションズが運営する海外ホテル予約サービスとのAPI情報連携を開始しております。旅行需要の喚起及び新規顧客の獲得に向けてオウンドメディアやSNSの運用にも注力し、株式会社ミキ・ツーリストと共同でヨーロッパの現地情報を動画で発信する専門Instagramアカウント「whee TV」を開設したほか、映画配給会社と共同でイベントを開催するなど、他業種とのコラボレーションによる認知拡大にも取組みました。

以上の結果、当連結会計年度における連結業績は、売上高は33,355,387千円（前年同期比14.0%増）、営業利益は138,709千円（前年同期比58.4%減）、経常利益は138,061千円（前年同期比56.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は88,340千円（前年同期比53.5%減）となりました。

なおセグメントの業績については、当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略いたします。

\* 2020年6月 日本政府観光局(JNTO)「2020年 訪日外客数・出国日本人数」

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は4,281,228千円と、前連結会計年度末比1,725,367千円減少しました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末比932,319千円、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比654,917千円、旅行前払金が前連結会計年度末比826,680千円減少した一方で、未収入金が前連結会計年度末比584,767千円増加したことによるものです。

#### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は1,012,464千円と、前連結会計年度末比162,681千円増加しました。これは、有形固定資産が前連結会計年度末比56,920千円、無形固定資産が前連結会計年度末比147,520千円増加した一方で、投資その他の資産が前連結会計年度末比41,760千円減少したことによるものです。

#### (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は3,682,386千円と、前連結会計年度末比1,730,494千円減少しました。これは主に、旅行前受金が前連結会計年度末比3,310,094千円、買掛金が前連結会計年度末比520,945千円減少した一方で、短期借入金が前連結会計年度末比693,487千円、未払金が前連結会計年度末比417,554千円、預り金が前連結会

計年度末比1,121,080千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は69,072千円と、前連結会計年度末比742千円減少しました。これは、資産除去債務が前連結会計年度末比1,900千円増加した一方で、その他固定負債が前連結会計年度末比2,643千円減少したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,542,234千円と、前連結会計年度末比168,550千円増加しました。これは主に、資本金が前連結会計年度末比37,110千円、資本剰余金が前連結会計年度末比37,110千円、利益剰余金が前連結会計年度末比88,340千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、2,702,836千円と前連結会計年度末比935,319千円の減少となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益140,298千円の計上に加え、売上債権の減少677,562千円、旅行前払金の減少826,841千円、預り金の増加1,121,080千円等の増加要因がある一方、旅行前受金の減少3,310,259千円、仕入債務の減少520,678千円、未収入金の増加539,073千円等の減少要因から、1,343,709千円の支出（前連結会計年度は1,817,292千円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出306,482千円、敷金の差入による支出58,372千円等の減少要因がある一方、差入保証金の回収による収入56,500千円等の増加要因から、280,004千円の支出（前連結会計年度は281,105千円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出6,036千円、リース債務の返済による支出5,503千円の減少要因がある一方、短期借入金の増加700,000千円等の増加要因から、689,161千円の収入（前連結会計年度は15,765千円の支出）となりました。

(4) 今後の見通し

2021年3月期におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、各国政府による海外渡航制限や行動制限等の措置、企業や消費者による移動の自粛等により旅行需要が大幅に減退しており、旅行業界を取り巻く環境は大変厳しいものとなっております。海外旅行市場におきましては、2020年3月以降、海外ツアーの催行中止が続いており、催行再開時期は未だ不透明な状況にあります。

当社グループにおきましても月次で公表しております旅行業取扱状況速報の2020年4月及び5月の累計数値が前年同期比0.8%と低調に推移しており、6月以降もこの状況が引続いております。

このような環境下、当社グループでは、支店の統合や人件費の見直し、開発外注費やマーケティング費用の精査等のコスト削減策を実施するとともに、コミットメントラインや当座貸越枠の設定及び借入の実行など手元流動性の確保に努めております。また、海外旅行に比べて早期に需要回復が見込まれる国内旅行商品の企画・販売にリソースを集中し、需要回復期の取込みを見据えた商品展開を推進しております。しかしながら、当社が従来強みとしておりました海外旅行市場の回復の見通しが不透明であり、現時点において数値を合理的に算定することが困難であるため、2021年3月期の連結業績予想につきましては、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針としております。なお、IFRS（国際会計基準）については、今後の当社グループにおける外国人株主比率の推移及び国内外の動向を参考に検討いたしますが、現時点では適用については未定であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,689,155	2,756,836
受取手形及び売掛金	831,856	176,939
割賦売掛金	82,031	58,936
旅行前払金	1,225,114	398,433
未収入金	101,440	686,208
未収還付法人税等	—	49,310
その他	78,163	155,683
貸倒引当金	△1,166	△1,118
流動資産合計	6,006,595	4,281,228
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	91,031	125,403
車両運搬具(純額)	7,553	8,649
リース資産(純額)	5,041	—
その他(純額)	7,651	34,145
有形固定資産合計	111,278	168,199
無形固定資産		
ソフトウェア	15,563	345,486
その他	227,878	45,475
無形固定資産合計	243,441	390,962
投資その他の資産		
長期貸付金	4,876	4,876
繰延税金資産	57,039	44,722
差入保証金	192,990	157,068
その他	245,034	251,513
貸倒引当金	△4,876	△4,876
投資その他の資産合計	495,064	453,303
固定資産合計	849,783	1,012,464
資産合計	6,856,379	5,293,693

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	774,055	253,109
短期借入金	6,512	700,000
リース債務	5,503	—
未払金	139,662	557,217
未払法人税等	106,758	15,623
旅行前受金	4,142,170	832,076
預り金	50,643	1,171,723
賞与引当金	122,273	11,055
その他	65,300	141,579
流動負債合計	5,412,880	3,682,386
固定負債		
資産除去債務	32,352	34,253
その他	37,462	34,819
固定負債合計	69,815	69,072
負債合計	5,482,695	3,751,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	426,942	464,053
資本剰余金	336,942	374,053
利益剰余金	586,087	674,428
自己株式	△83	△83
株主資本合計	1,349,888	1,512,451
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	172	—
為替換算調整勘定	17,299	16,155
その他の包括利益累計額合計	17,472	16,155
非支配株主持分	6,323	13,627
純資産合計	1,373,684	1,542,234
負債純資産合計	6,856,379	5,293,693

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	29,268,193	33,355,387
売上原価	25,424,722	29,146,028
売上総利益	3,843,470	4,209,358
販売費及び一般管理費	3,510,409	4,070,648
営業利益	333,060	138,709
営業外収益		
受取利息	56	91
受取配当金	0	0
為替差益	—	1,085
受取補償金	370	2,000
助成金収入	150	—
受取手数料	754	—
償却債権取立益	—	6,111
その他	734	2,836
営業外収益合計	2,066	12,125
営業外費用		
支払利息	1,426	44
支払保証料	2,027	3,182
為替差損	2,146	—
支払手数料	7,670	5,656
解約違約金	1,500	2,197
その他	1,585	1,692
営業外費用合計	16,357	12,773
経常利益	318,770	138,061
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	3,200
特別利益合計	—	3,200
特別損失		
減損損失	6,736	964
不正関連損失	4,665	—
特別損失合計	11,401	964
税金等調整前当期純利益	307,368	140,298
法人税、住民税及び事業税	121,103	32,584
法人税等調整額	△9,315	12,314
法人税等合計	111,787	44,899
当期純利益	195,580	95,399
非支配株主に帰属する当期純利益	5,454	7,058
親会社株主に帰属する当期純利益	190,125	88,340

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	195,580	95,399
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	828	△172
為替換算調整勘定	3,077	△898
その他の包括利益合計	3,905	△1,070
包括利益	199,485	94,328
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	194,030	87,024
非支配株主に係る包括利益	5,454	7,304

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	426,526	336,526	395,961	△36	1,158,978
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	415	415			831
親会社株主に帰属する 当期純利益			190,125		190,125
自己株式の取得				△47	△47
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	415	415	190,125	△47	190,909
当期末残高	426,942	336,942	586,087	△83	1,349,888

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△655	15,442	14,787	—	1,173,766
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)			—		831
親会社株主に帰属する 当期純利益			—		190,125
自己株式の取得			—		△47
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	828	1,857	2,685	6,323	9,008
当期変動額合計	828	1,857	2,685	6,323	199,918
当期末残高	172	17,299	17,472	6,323	1,373,684

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	426,942	336,942	586,087	△83	1,349,888
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	37,110	37,110			74,221
親会社株主に帰属する 当期純利益			88,340		88,340
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	37,110	37,110	88,340	—	162,562
当期末残高	464,053	374,053	674,428	△83	1,512,451

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	172	17,299	17,472	6,323	1,373,684
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)			—		74,221
親会社株主に帰属する 当期純利益			—		88,340
自己株式の取得			—		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△172	△1,144	△1,316	7,304	5,987
当期変動額合計	△172	△1,144	△1,316	7,304	168,550
当期末残高	—	16,155	16,155	13,627	1,542,234

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	307,368	140,298
減価償却費	65,396	100,672
減損損失	6,736	964
不正関連損失	4,665	—
受取利息及び受取配当金	△57	△92
支払利息及び支払保証料	3,454	3,226
為替差損益(△は益)	△607	324
売上債権の増減額(△は増加)	△364,342	677,562
旅行前払金の増減額(△は増加)	△537,965	826,841
未収入金の増減額(△は増加)	△30,270	△539,073
仕入債務の増減額(△は減少)	311,797	△520,678
旅行前受金の増減額(△は減少)	2,047,855	△3,310,259
未払金の増減額(△は減少)	43,653	389,307
預り金の増減額(△は減少)	△2,261	1,121,080
貸倒引当金の増減額(△は減少)	534	△48
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,508	△111,279
預け金の増減額(△は増加)	355	107
その他	△7,925	101,670
小計	1,866,894	△1,119,374
利息及び配当金の受取額	57	92
利息及び保証料の支払額	△2,312	△5,861
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△47,346	△218,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,817,292	△1,343,709
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△196,884	△306,482
資産除去債務の履行による支出	△1,988	—
差入保証金の差入による支出	△14,894	△20,905
差入保証金の回収による収入	2,000	56,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,363	—
敷金の差入による支出	△21,766	△58,372
その他	△50,935	49,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△281,105	△280,004
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△2,060	△6,036
リース債務の返済による支出	△14,376	△5,503
ストックオプションの行使による収入	831	702
自己株式の取得による支出	△47	—
その他	△112	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,765	689,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	△138	△767
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,520,282	△935,319
現金及び現金同等物の期首残高	2,117,873	3,638,155
現金及び現金同等物の期末残高	3,638,155	2,702,836

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、旅行業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	291.96	321.67
1株当たり当期純利益(円)	40.64	18.70
潜在株式調整後1株当たり当期純利益(円)	39.31	18.14

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	190,125	88,340
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	190,125	88,340
普通株式の期中平均株式数(株)	4,678,205	4,723,468
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	157,795	146,001
(うち新株予約権(株))	(157,795)	(146,001)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益の算定に含めな かった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

## 1. 借入及び用途

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、旅行解約及び旅行催行中止の旅行代金返金に備えることを目的として、コミットメントライン及び当座貸越の借入実行を行いました。

## 2. 借入先の名称

株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社東日本銀行、株式会社商工組合中央金庫、三井住友信託銀行株式会社

## 3. 借入金額、借入条件

借入金額 総額1,200,000千円

借入条件 基準金利＋スプレッド、固定金利

4. 借入の実行時期、借入期間

借入実行時期 2020年4月に複数回に分けて実行しております。

なお、1回の借入金額は当連結会計期間末の純資産額の30%未満となっております。

借入期間 3ヵ月から1年

5. 担保提供資産

なし